

# マルチメディア時代を開くコンテンツ保護技術

## Content Protection for the Multimedia Era

デジタル技術の発展とともに、本格的なマルチメディア時代が現実化しつつありますが、コンテンツ側から見ると、いろいろなメディアを通じてコンテンツの流通ができるようになった反面、コンテンツの保護が重大な関心事になってきています。インターネットの普及に伴い、誰でもコンテンツを一瞬のうちに多数の人に送ることができるようになり、配給システムの急速な転換期にさしかかっているように思われます。また一方で、著作権者に許可を得ず、コンテンツをインターネットにばらまくなどの違法行為が問題となっており、これに対する有効な対応策が必要になっています。

コンテンツ保護システムが一般に普及する機器に導入されたのはDVDが初めてですが、これにより、コンテンツの供給が非常に円滑に行われ、従来にない速度で普及し、現在の成功を招いています。その結果、著作権のあるコンテンツの頒布やコピーなどを扱うシステムでは、暗号を使ったデジタルデータの保護と、鍵認証などによる情報伝達時のセキュリティの確保が一般的になってきています。

しかし、コンテンツ保護には技術だけでは解決できない面もあり、法整備と著作権の尊重を一般の人に認識してもらうための広報教育活動なども必要とされるようになってきました。また、コンテンツ利用者によけいな負担を掛けずに楽しんでもらうためには、技術的に克服すべき課題もまだ多く存在しております。

この特集では、コンテンツ保護に関する東芝の取組みと技術について述べております。当社は、DVDの導入から一貫してコンテンツ保護に取り組んできました。将来、コンテンツを生み出す側とこれを楽しむ側が、お互いを尊重して快適な生活環境を作ることがわれわれの目標であり、今後とも、このような環境の形成のために努力していきます。



山田 尚志  
YAMADA Hisashi